

東京ドームホテル 土屋誠次社長を訪問！！

～他社との差別化は社長から！？～

私たち小川・西野・本田・吉野の4人は緊張しながら東京ドームホテルの土屋社長とお話しをしました。普段だいたい同年代の人としか話をしない僕たちにとって、一回りも二回りも上の方と、しかも社長という肩書きを持つ人物と話が出来るといったことは大変よい経験になるし、それはまた緊張感を持つ意味で刺激的なことでもありました。これも東京ドームホテルの土屋社長が僕たちの企画に興味を持っていただいて、広い心で対話に応じてくださったからに違いありません。本当に感謝でした。

二十歳のころについてお話を聞く、ということでしたが私たちはたくさんの質問を考えて対談に臨みましたが、土屋社長はすべての質問に丁寧に答えてくださいました。私たちがこれからの学生生活をさらによいものにしていくために自分たちなりに質問を考えて臨みました。

そこで、土屋社長が答えてくださった回答はこれからの僕たち学生にとって強く残るようなものばかりでした。その中で印象的だったのは、これからどのようにして学生生活を送っていけばよいのかという質問に対して、土屋社長は一度しかない学生生活を楽しんで送ることが大切であるとおっしゃられました。加えて、友達の輪や人としてのマナーなども身に付くことにもなるとおっしゃってくださいました。その大学生活で築いた交友関係はその後の社会人としての生活にも欠かせないものになるとおっしゃっていました。土屋社長は今でも部下に話せない経営のことなどは大学からの長い付き合いの旧友に相談されているそうです。この言葉を聞いて、私たちはこの課題を通して4人の関係やゼミの仲間、クラスの仲間を大事にしていこうという気持ちがさらに強いものになりました。

インタビューを振り返ってみて…

土屋社長に接することによって、社長というもののイメージが変わったように思いました。堅い意志のようなものがありながら、柔軟な考え方を併せ持っているため、**我をしっかりと持っている方**でした。しかも、常に屈託のない笑顔をしており、私たちを和ませてくれました。やはり、人間的にも大きくなるためにはこのような人が理想になってくるのかなと考えさせられました。

インタビューをしてみて目上の人との話し方などを少しずつながら学ぶこともできました。実際にはうまくいかない点多々ありましたが、土屋社長の寛大な対応にも感動しました。

最後になりますが、お忙しい中私たちのために時間を割いていただいて、話をさせていただいた土屋誠次社長には本当に感謝しています。本当にありがとうございました。

